

いっく うっく

厳し美しい里



だより



発行者：厳し美しい里協議会
(会長 小岩次男)

(事務局)

〒021-0101

一関市厳美町字沖野々116-6

一関市厳美市民センター内 鈴木

TEL29-2205 FAX29-2251

genbicc.jp



令和6年9月1日発行第24号

地域づくり事業

災害に備える『パッキング』

～防災学習～を開催しました

6月8日(土)に開催した防災学習をアレンジした内容で、民生児童委員さんを対象とした講習会を開催しました。

おにぎりのレシピの他に、柔らかいごはんやお粥、温野菜サラダの作り方等、食支援が必要な方にも対応できるパッキングの実習を行いました。

「美味しくできた。」「普段の食事にも応用できそう。」等の感想をいただきました。

その他、外出時の災害に備えた防災ポーチ、ボトル、自身の持病やアレルギーなど、いざという時に知ってもらいたい情報を記入する災害・避難カード、伝言ダイヤルについても、理解を深めていただきました。

地域を見守ってくださる民生児童委員さんの防災意識、知識が高いということは、地域住民の私たちには、とても心強いことです。



【さすがの手際の良さで、あっという間に出来上がり】

一関工業高等学校・厳し美しい里協議会

うぶすめがわ

産女川踏査

7月27日(土) 県立一関工業高等学校土木科3年の生徒5名が「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」の一環として、岩手宮城内陸地震で甚大な被害を受けた産女川治山工事の現場に赴きました。

当日は、あいにくの大雨のため、予定されていたドローン撮影等は中止となり、現場事務所が設置されている高台からの見学のみとなりましたが、震災から16年が経過した今もなお続く工事を目の当たりにし、改めてその被害の大きさを実感しているようでした。

また、危険な工事現場でありながら、近代的な設備で安全に留意した環境が整えられていることも説明を受け、大きな学びとなりました。



【平野組さんの説明に熱心に耳を傾ける土木科の皆さん】

～厳美中の皆さん、ありがとうございました～

厳美中学校の各地区生徒会活動として、7/28(土) 早朝6時から、山谷地区の皆さんによる厳美市民センター山谷分館の清掃が行われました。(生徒会活動は毎年夏に行われているそうです。)

生徒6名、保護者4名の皆さんにより、窓ふき、トイレ掃除、敷地内のゴミ拾い等を行っていただきました。

おかげさまで、地域の皆さんの拠り所となっている山谷分館が、より一層キレイになりました。

地域の方は、「分館がキレイになって気持ち良い。とても有難い。」と、喜んでいました。厳美中学校の皆様、ありがとうございました。



山谷分館を震災学習拠点へ ～活動報告～



タイルが残るだけの“元”風呂場に浴槽を設置



分館内を片付け、展示室へと



発災時の様子が学べる部屋を目指して



避難所用テント、ベットも展示

岩手宮城内陸地震の際、避難所となった山谷分館を震災学習の拠点とするべく、有志の皆さんには新潟県の中越メモリアル回廊の視察、地域の皆様から寄せられた震災資料の整理、展示室の整備などを進めていただき、6/15には、震災資料展示室お披露目会を無事開催することができました。

更に、当時の避難所の様子を再現している部屋に、避難所に指定されている市民センターや分館に実際に配置されている避難所用のテントやベットを展示し、当時と現在の違いが一目でわかるようにする、タイルだけが残されている元のお風呂場に浴槽を設置し当時の様子を再現するなど、着々と整備を進めている段階です。

今後は震災資料展示室だけではなく、震災遺構 祭時大橋や市野々原など巖美地域全体が防災学習の場となることを目標に、活動を継続してまいります。

編集後記：巨大地震注意の発表や台風5号も記憶に新しいところですが、9月1日の防災の日は、3・11、6・14 とともに、自然災害についての認識を深め、心がまえや備えについて今一度見直す日として、意識した1日を過ごそうと思います。(鈴木)

